

- 各務原市 浅野市長
- コープぎふ 川崎理事長
- コープぎふ組合員理事 蟹澤さん

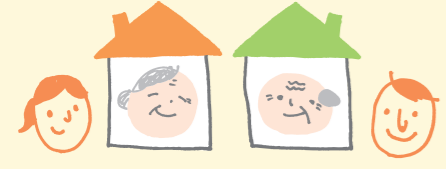
市民が住み慣れた地域で、安心して生活することができる環境を整えるため、各務原市とコープぎふがタッグを組んで実施する「かかみがはら安心ねっとわーく事業」。コープぎふでは「コープ見守りねっと」として、地域の見守り活動に貢献することを目指しており、岐阜市、岐南町、大垣市社協に続き4例目となります。安心安全に住めるまちづくり、優しいまちづくりについて、各務原市長とコープぎふ理事長、コープぎふ組合員理事が懇談しました。



コープぎふ 蟹澤 保子 組合員理事

コープ見守りねっととは？

地域の見守り活動に取り組んでいきます  
 コープぎふは「笑顔あふれる協同の暮らし」を理念とし、誰もが暮らしやすく安心して住み続けられる地域社会の実現を願っています。コープぎふの職員も地域社会の一員として、グループ購入やコープ宅配などの地域に密着した事業を活かし、まちづくり・見守り活動に協力・連携してまいります。



かかみがはら 安心ねっとわーく事業 協定締結 この春よりスタート！



フェイス to フェイスを活かして

各務原市の約15000世帯がコープぎふの組合員ということで、今回の協定締結は頼もしく、感謝しています。

コープぎふでは、地域担当者がいつも決まったエリアに商品をお届けしています。共同購入班では毎週1回は組合員さんと顔を合わせますし、コープ宅配では各家庭に商品をお届けするので、「戸が閉まったまままだな」「この頃お見かけしないな」「新聞を受け取られていないな」など、些細な変化に気づくことができます。

私の周囲を見まわしても高齢者のみの世帯も増え、ますますさりげない見守りが必要になってきていると感じます。「いつもと違う」に気づける生協は地域にとって頼りになる存在ですね。

先日、職員がバジヤマにカーディガンを羽織った、少し様子の気になるお年寄りを見かけたそうです。声を掛けていいものか躊躇したそうですが、勇気を出して「大丈夫ですか」と声を掛けられたところ、手を握って放されなかったとか。ちよつと息子さんが後からいらっしゃって、お礼を言われたということがありました。そういった事例もよくあります。

うちもコープぎふに加入していますが、カタログを見ると商品点数が多くて驚きます。現在、品数はどれくらいあるのでしょうか？

毎週、1000品目くらい商品をご案内しています。最初は注文システムに戸惑い、加入しにくいという声もお聞きますが、経験していただくとうれしいです。加入された方もいらっしゃるほどです。東白川地域に住んでいらっしゃる浅野市長さんのご親戚も「生協がないと生きていけない」とおっしゃってくださっているのですが、自分たちの仕事で役立っているというのには本当にうれしく思います。

東白川村は過疎化が進んでいる地域です。昔は商品を積んだ行商のバスが来ていました。それがなくなるとは、数キロ先の麓のスーパーまで行かなくてはなりません。生協が利用できて助かっているようです。車社会に甘んじてしまったという反省点もありますが、食は生命にかかわってくる問題なので、これからは支えになっていただきたい。

市民が自主的に活動できる場を

各務原市は昨年、市制50周年を迎

各務原市では約4軒に1世帯がコープぎふに加入しており、きめ細かな見守りを期待しています。

コープぎふならではの、フェイス to フェイスの関係を生かしていきたいですね。

生協がライフラインに

各務原市も10年後にはさらに高齢化が進み、買い物弱者が多く出ると推測されています。昨年、買い物に困っていたらしやる方向けに「インターネットで買い物をはじめよう」と講習会を開いたところ、定員以上の申込みがありました。

実際に買い物に困っている高齢者もたくさんいらっしゃいますね。

ええ、単身の高齢者世帯も増えていますし。他にも「ふれあいバス」を、今まで以上に高齢者が利用しやすいよう、路線や時間などを総合的に見直しています。

市のコミュニティバスとタイアップして、地域と生協のお店を結び使することができると思います。また買い物に困っていらっしゃる方にコープ宅配や夕食宅配のこともっとお知らせしたいです。身近な公民館などで説明会ができると思います。子どもにも高齢者にも、れんげファミリーのキャラクターラックを見たら安心してもらえるような関係をつくりたいです。

私もが「生協に入りませんか」とお願いすると、「歳をとって買い物に行けなくなったら頼むね」という声もよくいただきます。そうは言わずに、今から利用してくださるとは言いますが(笑)

コープぎふ 川崎直巳 理事長



コープぎふだからこそのお手伝いをします

幸せを実感できるまちづくりを応援してください

各務原市 浅野 健司 市長

えられましたが、生協や他の地域団体、住民が連携し、住み良い市になるといいですね。日ごろの情報交換や「コミュニケーション」を積極的に図りたいです。

昨年「メーテレ」で各務原市制50周年記念ドラマを制作していただいたのですが、ボランティアなど参加した市民は3000名を超えました。これからは

コープぎふは組合員さんが主人公です。組合員さんがやりたいと思ったことを全力で応援しています。各務原市といっしょに取り組むことで、いろいろな活動の場が広がると思います。



協定概要(一部抜粋)

- 市内において業務活動中に市民の異変などに気付いたときは、市へ連絡を行う。緊急性があると判断したときは、必要な措置を行い、警察署、消防本部へ通報する
- 徘徊などにより行方不明となった市民の早期発見・保護につなげるため、各務原警察署を通じ行方不明者の情報を提供する
- 市とコープぎふは、安心ねっとわーく事業を効果的に推進するため、定期的に情報交換や協議を行う

連携している自治体・社会福祉協議会

自治体名	協定締結など(2014年3月10日現在)
岐阜市	岐阜市高齢者見守りネットワーク事業
各務原市	かかみがはら安心ねっとわーく事業
岐南町	岐南町高齢者見守りネットワーク事業
山県市	山県市地域見守りネットワーク事業
大垣市社会福祉協議会	あんしん見守りネットワーク事業
白川町	白川町地域包括支援センター連絡窓口